

# 「作る」から「使う」 BIMへの思いやり

## 大林組×トランスコスモス×応用技術

大林組、トランスコスモス、応用技術の3社がBIMモデリングの進展度(LOD)を管理するシステム『Smart BIM Connection』(SBC)を開発し、9月から販売を始める。BIMを設計から生産設計、施工管理まで一貫して利用するためには、1つのBIMモデルを作り上げるモデリングの過程で、関係者が最新の正しい情報を共有できていることが求められる。そのキーワードは「作るBIM」から「使うBIM」へ。大林組の岡野英一郎氏、執行役員デジタル推進部長、本谷淳氏、デジタル推進室企画管理部長、谷口隆二氏(デジタル推進室)、トランスコスモスの小谷勝彦氏、デジタル推進室企画管理部長、トランスコスモスの小谷勝彦氏(理事ビルディングインフラサービス本部副部長)、応用技術の高木英一氏(執行役員toBIM推進部長)にSBCに込めた思いを語ってもらった。



高木 英一氏

応用技術



小谷 勝彦氏

トランスコスモス



谷口 隆二氏

大林組



本谷 淳氏

大林組



岡野 英一郎氏

大林組

モデル進展度の見える化で正しく情報共有

部位	LOD
外壁	300
窓	200
内壁	300
内部ドア	300
...	

外壁、内壁、内部ドアのデータは次の利用ステップに進んでOK



岡野 今回のSBCの開発はライアンスの成果である。SBCは、大林組が開発するワンモデルBIMのモデリング過程を見える化するツールとして開発を進めてきた。社内ではBIM標準『Smart BIM Standard』(SBS)を掲げているが、これを円滑に適用する上でモデリング管理が重要と考えていた。BIM一貫利用に向けた、われわれの強いメッセージでもある。

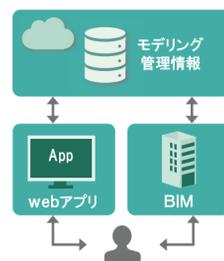
谷口 コンセプトは「作るBIM」から「使うBIM」への転身であり、使えるデータを関係者間で共有することを意図している。どの情報が確定しているかを管理する公的な指標に進展度(LOD)がある。SBCはLODの状況を見える化できる。

本谷 モデリングの際のLODの管理には表計算ソフトで作成したドキュメントが使われることが多い。これではモデリング作業が担当者ごとにはらつきが生じやすい。しかもモデリング完了まで中

2019年に3社はアラ

イアンスを結んだ

身を確保できないため、情報の不足を修正する手戻りが発生してしまう。モデルが整っていないのは円滑な情報共有ができていないということだ。



クラウドとRevitアドオンでLOD管理

高木 SBCはオートデスクのBIMソフト『Revit』のアドオンアプリケーションとクラウドサービスのパッケージ商品として、9月から販売を始めるが、トランスコスモスと応用技術のtoBIMサービスを通じ、5月からトライアルの受付をスタートした。

小谷 トランスコスモスは大林組のBIMの一貫利用をモデリングパートナーとして支援し、BIMデータが各部門で円滑に使われる流れを支援している。作るB

サービスの中身は

本谷 SBCではLOD要件の登録と目標LODの設定を行った上でモデリングを管理する。その要件の達成度を「Good」「NG」等のシリアルボタン操作で入力する。結果として進展状態が一目で理解でき、関係者間でコミュニケーションも取りやすくなる。

岡野 他社設計の案件では設計者からBIMを引き継いでいるにもかかわらず、生産設計に使えない場合もあり、パラメーターの再設定を行い、モデルを整えている。それ

谷口 例えは壁の仕様や配置が確定しているのに、ドアの情報が確定していない場合、それをきちんと関係者に伝達する必要がある。進展度が明らかになれば、円滑な管理が実現する。これまでLODは人が記述する文書管理のプロセスだったため、管理自体が煩雑になり、リアルタイム共有も難しかった。

本谷 SBCは、全社的なBIM管理者、プロジェクトの管理者、モデリング担当者まで広く利用メトリックがあると考えている。モデル品質が向上し、管理面での効率化効果が高い。関係者間のコミュニケーションが円滑になり、担当者は常にクリアな状態で作業できるはずだ。

## 9月に『Smart BIM Connection』リリース



SBC-webに登録するLOD管理表。部位別の要件登録と目標設定から成る。

岡野 今後の展開は、他社設計の案件では設計者からBIMを引き継いでいるにもかかわらず、生産設計に使えない場合もあり、パラメーターの再設定を行い、モデルを整えている。それ

本谷 SBCは、全社的なBIM管理者、プロジェクトの管理者、モデリング担当者まで広く利用メトリックがあると考えている。モデル品質が向上し、管理面での効率化効果が高い。関係者間のコミュニケーションが円滑になり、担当者は常にクリアな状態で作業できるはずだ。

谷口 SBCは、全社的なBIM管理者、プロジェクトの管理者、モデリング担当者まで広く利用メトリックがあると考えている。モデル品質が向上し、管理面での効率化効果が高い。関係者間のコミュニケーションが円滑になり、担当者は常にクリアな状態で作業できるはずだ。

本谷 SBCは、全社的なBIM管理者、プロジェクトの管理者、モデリング担当者まで広く利用メトリックがあると考えている。モデル品質が向上し、管理面での効率化効果が高い。関係者間のコミュニケーションが円滑になり、担当者は常にクリアな状態で作業できるはずだ。

高木 トライアルでは設計事務所や他の建設会社にも使ってもらいたい。Revit支援パッケージ『Boot-one』と同じように、利用者の要望を受け付けるリクエストボードも置く。サブスクリプションサービスとして、皆さまとともに成長するシステムとして進んでいきたい。

小谷 業界としてBIMのさらなる普及には非競争領域の整備が不可欠である。設計者、施工者など各段階のプレイヤーが知見を共有し、より良い仕組みとしてベスが整えば、BIMの普及に大きな効果を生む。まさにSBCは非競争領域の力強いツールになり得る。

をコントロールする際のツールとしてもSBCは有効と考える。建築設計事務所にも活用してもらいたい。

高木 紙図面を使うのはBIM本来の姿ではない。図面ありきの商習慣を変えないと、本社のBIMに到達できない。クラウドを介した情報共有の時代になり、入ったモデルが正確なのか、品質はどうか、モデルが整わないと後戻りせざるを得ない。BIMデータの連携ニーズが高まっている現在、SBCは存在感を増すはずだ。

小谷 業界としてBIMのさら

なる普及には非競争領域の整備が不可欠である。設計者、施工者など各段階のプレイヤーが知見を共有し、より良い仕組みとしてベスが整えば、BIMの普及に大きな効果を生む。まさにSBCは非競争領域の力強いツールになり得る。

本谷 SBCは、全社的なBIM管理者、プロジェクトの管理者、モデリング担当者まで広く利用メトリックがあると考えている。モデル品質が向上し、管理面での効率化効果が高い。関係者間のコミュニケーションが円滑になり、担当者は常にクリアな状態で作業できるはずだ。

谷口 SBCは、全社的なBIM管理者、プロジェクトの管理者、モデリング担当者まで広く利用メトリックがあると考えている。モデル品質が向上し、管理面での効率化効果が高い。関係者間のコミュニケーションが円滑になり、担当者は常にクリアな状態で作業できるはずだ。

本谷 SBCは、全社的なBIM管理者、プロジェクトの管理者、モデリング担当者まで広く利用メトリックがあると考えている。モデル品質が向上し、管理面での効率化効果が高い。関係者間のコミュニケーションが円滑になり、担当者は常にクリアな状態で作業できるはずだ。

高木 トライアルでは設計事務所や他の建設会社にも使ってもらいたい。Revit支援パッケージ『Boot-one』と同じように、利用者の要望を受け付けるリクエストボードも置く。サブスクリプションサービスとして、皆さまとともに成長するシステムとして進んでいきたい。

小谷 業界としてBIMのさらなる普及には非競争領域の整備が不可欠である。設計者、施工者など各段階のプレイヤーが知見を共有し、より良い仕組みとしてベス

### 「作る BIM」から「使う BIM」へ

BIMモデルを「作る」のは「使う」ためのはずです。一方で、モデルの情報はいつも全てが使える訳ではありません。SBCは使える情報を知るためのモデリングマネジメントシステムです。

### 「作る BIM」から「使う BIM」へ BIMモデリングの状況を共有するマネジメントシステム「Smart BIM Connection™」リリース発表記念ウェビナー

【開催概要】  
開催日時：6月25日(金) 15:00~16:15 (75分)  
申し込み：https://tobim.net/event/11859  
形式：ZOOM ウェビナー (参加無料：事前登録制)  
テーマ：Smart BIM Connection™ のご紹介  
主催：応用技術株式会社  
協力：株式会社 大林組、トランスコスモス株式会社

## toBIM 人と技術の融合によるワンストップ BIM サービス

### システム開発

個別のニーズに合わせた BIM の実現のために BIM の効率を高めるためのお客様ニーズに応じたシステムやツールの提案および開発を行うサービスです。

### 導入サービス

スムーズな BIM 導入のために BIM 運用の課題抽出から解決手段の提示およびトレーニングなど導入の効率化を行うサービスです。

### 活用サービス

BIM を最大限活用するために IoT、AR/VR、AI など最新技術を活用したシステム連携による「Connected BIM」の支援を行うサービスです。

### BPO サービス

BPO を活用した業務効率化のために お客様毎の効率的な BIM のプロセスを構築し、BPO を利用することでリソースの最適化を図るサービスです。

### システム提供

建設業界の高度化のために 建設市場に向けた BIM の支援サービスや効率化ツールなどの提供をお客様と一体になって行うサービスです。

trans cosmos  
people & technology

APPLIED TECHNOLOGY co., ltd.  
応用技術株式会社

誰もが BIM につながる世界へ  
A world connected to BIM

https://tobim.net